

平成22年度(2010年度) 地質情報管理士資格検定試験

技術委員会

地質情報管理士は、地質情報の新しい利用形態の環境を見据え、地質情報の電子化・利用に係わる能力(IT関連、CALS/EC、座標情報、電子認証など)を有する地質調査技術者の育成を目的として、平成18年度に資格制度が創設され、今年で5年目を迎えます。

東北地区(仙台会場)における平成22年度の地質情報管理士試験は、平成22年11月26日(金)に「仙台市戦災復興記念館」で開催されました。受験申込者数13名に対して受験者は9名でした。

試験は以下の内容で実施されましたが、幅広い範囲・内容で出題され、比較的難易度が高いと感じられました。

(1) 試験時間および試験方法

試験時間：午前－90分、午後－90分
試験方法：午前－択一式、午後－記述式

(2) 試験内容および配点

◆午前の部(10:30－12:00(90分))
第1部 情報技術、GIS、測量、地盤情

報などに関する基礎知識 20問40点
第2部 電子納品、JIS、コンプライアンスなどに関する基礎知識 20問40点
◆午後の部(13:00－14:30(90分))
第3部 電子情報全般と地質情報公開計 30点
第4部 電子納品実務 計 30点

東北地区では、年々、受験者数が減少していることから、来年以降は、資格の重要性について、啓蒙活動をより一層行ってゆく必要があると感じられました。

また、受験資格の制限があり、実際の実務担当者が受験しづらいような側面もあることから、資格制度の継続性を考えた場合、改善の余地があるとの印象を持ちました。

最後に、長時間にわたる試験が、受験者の皆様のご協力のおかげで無事に終えることができましたことに対し、技術委員会と事務局一同、心より感謝申し上げます。

